

令和4年度事業計画（案）

本年は、年初からコロナ第6波の蔓延が顕著となり、特に飲食業・旅客業などのサービス業を中心に再び事業への影響を大きく受けています。国内でも地域ごとの格差が生じ、一部の地方ではピークアウトの声も聞かれますが当県ではいまだに不透明となっています。国際的にも国ごとに状況は大きく異なり、わが国ではその影響をもろに受けて輸入に頼らざるを得ない木材や原油の高騰、産業のコメともいわれる半導体の安定的な調達に不安が生じる状況となっています。

さて、本年の我が国の経済は、国際紛争やワクチンの接種進展状況などいくつかの条件が前提とはなりますが、5Gの実用化によりDXが一挙に進むことなどから、リモートやキャッシュレスへのシフトに拍車がかかり、働き方や決済など経済構造の変革をもたらし、これを起点として改善への大きな手ごたえを期待できるものと存じております。

このよう状況の中、当会議所では原点に立ち返り、会員事業所の現状やニーズを把握して行政へ消費喚起策などを提言するとともに、事業復活支援金をはじめとする国、県、市のコロナ対策に関し、今後の動静も含めて情報をいち早く把握、習熟し、職員による丁寧な相談の継続や会報及びメルマガによる情報の提供に努め、併せて、近年増加傾向の法務、労務、税務の専門家相談を充実してまいります。加えて、JR城端線のLRT化事案など広域にわたる今日的な課題もあり、近隣会議所や経済団体との連携を深めるとともに農商工連携の強化に向けてJAとなみ野との協力体制を強化してまいります。

令和4年度では、昨年から順延とした「産業フェア（パワー博）」を9月上旬に開催することとして準備を進めております。市内産業を総結集して市内外へアピールする絶好の機会であり、昨年から取り組んできた「発信事業」ともタイアップする形で工夫を重ね、コロナ禍を意識して安心安全を第一に進めますので会員各位のご理解とご協力をお願いいたします。また、女性会においても10月には県連女性会の「観月会」を主管することとなっており、盛会となるよう協力してまいります。さらに、この2年間中止を余儀なくされてきた子供歌舞伎曳山や夜高などの伝統行事も主催団体において復活に向けて調整が進んでいると伺っており駅前広場の活用も視野に支援してまいります。

また、今年度は第23期の最終年度となることから、「会員のための会議所づくり」、「地域貢献する会議所」の集大成となるよう役職員一同努力を重ねてまいりますので会員各位のご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。